

ひょうご歴史研究室紀要

第8号

特集 赤松氏と山城研究

『ひょうご歴史研究室紀要』第8号の刊行にあたって 藪田 貫 (1)
特集にあたって 大村 拓生 (3)

論文

前期赤松氏の展開と禅宗寺院 大村 拓生 (5)
前期赤松氏の城郭と拠点形成 山上 雅弘 (23)
前期赤松氏の実像 一ひょうご歴史文化フォーラムを振り返って一 古野 貢 (41)
近江六角氏の拠点形成 一前期赤松氏との比較を通じて一 新谷 和之 (56)
赤松居館跡 発掘五年間の成果 島田 拓 (73)
上郡町域の中世土師器 中井 淳史 (85)
城館研究への高精度DEMの活用 一南北朝期の城館を捉えるために一 永恵 裕和 (102)
南北朝・室町期における播磨国一宮と赤松氏 田村 正孝 (113)

歴史遺産活用

史跡利神城跡のその後 一保全と活用一 浅野 博之 (130)
城山城について 義則 敏彦 (137)
坂本城と置塩城 一姫路を代表する赤松氏の史跡一 大谷 輝彦 (144)

史料紹介

『安志藩大庄屋井上家文書』 一古城申伝書上覚一 竹内 信 (150)

書評

前田徹著『中世後期播磨の国人と赤松氏』 大村 拓生 (157)

ひょうご歴史研究室活動記録

大阪湾岸と淡路の地域史研究班・赤松氏と山城研究班・たたら製鉄研究班
「鳴門の渦潮」調査研究プロジェクト (162)

兵庫県立歴史博物館ひょうご歴史研究室編集

令和5年(2023)3月